



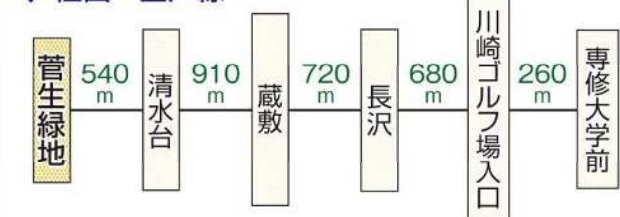
12

鎌倉街道

— 区内に残る中世の道 —



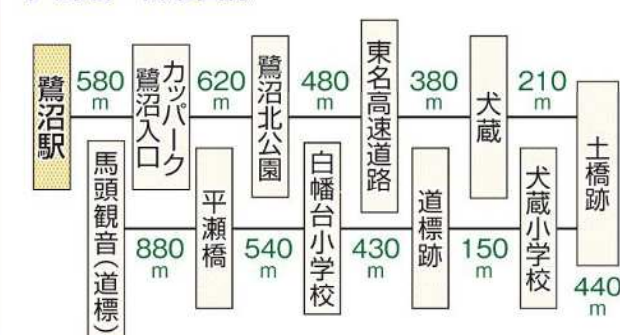
◆ 荏田～登戸線



インフォメーション：[菅生緑地]へのアクセス

(バス) 「宮前平駅」から「生田駅」「聖マリアンナ医科大学前」「鷺ヶ峰営業所前」行きに乗車し、[清水台]バス停で下車してください。

◆ 鷺沼～柵形山線



インフォメーション：[鷺沼駅]へのアクセス

(電車) 東急田園都市線をご利用ください。

鎌倉街道中道支線について

鎌倉街道は、鎌倉幕府の成立後、鎌倉と都及び地方を直結する道として整備された。鎌倉が危急の際、短時間で往来する目的をもっていた。しかし「吾妻鏡」には、鎌倉道と言う記述は見られない。鎌倉街道の呼称は、江戸時代以降に使われ始めた。関東地方を通過する鎌倉街道は上道、中道、下道がある。このうち中道は、鎌倉の鶴岡八幡宮から鶴ヶ峰、中山などを通り、荏田から大山街道のルートで瀬田に抜けていた。その後、赤羽、岩槻を経て宇都宮に達し、さらに奥州道で東北地方に向かっていった。文治5年(1189)、源頼朝は中道で奥州遠征に向かったと考えられている。宮前区には複数の鎌倉街道があるが、その代表的な中道支線には、荏田から水沢、菅生を経て登戸に向かうルート、鷺沼から土橋、初山を経て柵形山に向かうルートがある。



東名インター付近

ポイント解説 (数字は裏面の散策コースのポイントに対応しています。)

荏田～登戸線

① 菅生カネヅカ遺跡

縄文時代前期の遺跡で、発掘調査の結果、縄文時代の竪穴住居、落とし穴などが発見されている。同時に黒曜石の石器、石斧が出土した。現在、蔵敷団地に開発されている。カネヅカ遺跡前の中道支線は、麻生の王禅寺を参詣する王禅寺道と共用される。

② 矢道ノ坂

巴坂から権現坂下につながる坂道である。その名称の由来は、菅生神社付近に約1mの矢取塚があった、あるいは、矢を射て落ちた場所などの説が残されている。浄水場通りの開通で昔の面影は無い。

③ 菅生神社

天福元年(1233)、白幡八幡大神の分霊を祀る若宮八幡として創建された。明治43年(1910)、初山の八幡社、犬蔵の御嶽社、稗原の稻荷社などを合祀して菅生神社と改称。境内で初山の獅子舞(県指定無形民俗文化財)が舞われる。



④ 住二所

権現坂の中腹一帯は住二所とよばれ、権現社ともよばれる熊野社があった。権現坂は、現在の浄水場通りから西側にある坂道で、荏田から登戸に向かう、鎌倉街道中道の支線が通過していたと言われる。

鷺沼～柵形山線

⑤ 茶筌松跡

「新編武蔵風土記稿」によれば、源頼朝がこの地で、松の葉を茶筌の代わりに使い、その葉を棄てたところ根が付き大木になったと記されている。

⑥ 鞍掛松跡

源頼朝が乗鞍を松の木に掛けたことに由来する。根元が9尺(約2.7m)あったと言う。松の下には八幡宮の祠が建てられていたと伝える。

⑦ 土橋跡

「新編武蔵風土記稿」によれば、源頼朝が、太田前にあるドンドン川とよぶ、狭い溝に架橋させた橋で、長さ1間(約1.8m)、幅4尺(約1.2m)と記されている。

⑧ 白井坂埴輪窯跡

日本でも類例の少ない埴輪窯跡。昭和37年に埴輪窯が発見された。出土品を見ると、円筒埴輪と馬形埴輪が焼かれていたことがわかる。白井坂埴輪窯で焼かれた埴輪は、西福寺古墳(高津区)に運ばれ、古墳に並べられた。



(提供：川崎市市民ミュージアム)

参考文献

『新編武蔵風土記稿二』 昭和44年 歴史図書社
『川崎地名辞典上下』 平成8年 川崎地名研究所蔵
『川崎市石造物調査報告書』 昭和54年度 川崎市教育委員会

⑨ 初山天台遺跡



縄文時代中期の遺跡で、白幡台小学校付近の台地にあった。昭和40年の調査で竪穴住宅が23軒発見され、同時に大集落跡からは勝坂式縄文土器と、姫川産のヒスイが出土している。遺跡は大規模集合住宅の建設で消滅した。

⑩ 島坂

溝口から柿生に至る旧道で、特別1号線とよばれた。坂の中腹に立つ馬頭観音には、「北のぼりと道」「東二子道」「西王せんじ道」と記されている。元は、市営初山団地1号棟にあったが移された。



⑪ 本遠寺

「新編武蔵風土記稿」によれば、建治元年(1275)、鎌倉街道を府中に向かって日朗上人が一夜の宿を民家に求めた。その礼に日朗は念持仏を納めた。永禄2年(1559)に本遠寺が創建され、元禄8年(1695)に現在地に移された。



⑫ 熊野社跡

寿永元年(1182)に創建されたと伝える源氏ゆかりの古社。明治6年(1873)、白幡八幡大神の末社となったが、大正3年(1914)に合祀された。現在、白幡八幡大神の内殿である建物は、熊野社の本殿であった。

⑬ 尾根道の馬頭観音(道標)[表紙写真]

文政9年(1826)銘の三面三目の馬頭観音で、道標を兼ねており、「左上菅生道」「右押沼谷」と記されている。この尾根道は、建治元年(1275)、日朗上人が一夜の宿を乞うた場所と言われる。

『川崎の庚申塔』 昭和60年度 川崎市博物館資料調査団
『川崎の民俗』 昭和54年 角田益信著
『村況史料集下』 平成2年 川崎市市民ミュージアム

1
 2
 3
 4
 5
 6
 7
 8
 9
 10
 11
 12
 13
 14
 15
 16
 17
 18
 19
 20
 21
 22
 23
 24
 25
 26
 27
 28
 29
 30
 31
 32
 33
 34
 35
 36
 37
 38
 39
 40
 41
 42
 43
 44
 45
 46
 47
 48
 49
 50
 51
 52
 53
 54
 55
 56
 57
 58
 59
 60
 61
 62
 63
 64
 65
 66
 67
 68
 69
 70
 71
 72
 73
 74
 75
 76
 77
 78
 79
 80
 81
 82
 83
 84
 85
 86
 87
 88
 89
 90
 91
 92
 93
 94
 95
 96
 97
 98
 99
 100
 101
 102
 103
 104
 105
 106
 107
 108
 109
 110
 111
 112
 113
 114
 115
 116
 117
 118
 119
 120
 121
 122
 123
 124
 125
 126
 127
 128
 129
 130
 131
 132
 133
 134
 135
 136
 137
 138
 139
 140
 141
 142
 143
 144
 145
 146
 147
 148
 149
 150
 151
 152
 153
 154
 155
 156
 157
 158
 159
 160
 161
 162
 163
 164
 165
 166
 167
 168
 169
 170
 171
 172
 173
 174
 175
 176
 177
 178
 179
 180
 181
 182
 183
 184
 185
 186
 187
 188
 189
 190
 191
 192
 193
 194
 195
 196
 197
 198
 199
 200
 201
 202
 203
 204
 205
 206
 207
 208
 209
 210
 211
 212
 213
 214
 215
 216
 217
 218
 219
 220
 221
 222
 223
 224
 225
 226
 227
 228
 229
 230
 231
 232
 233
 234
 235
 236
 237
 238
 239
 240
 241
 242
 243
 244
 245
 246
 247
 248
 249
 250
 251
 252
 253
 254
 255
 256
 257
 258
 259
 260
 261
 262
 263
 264
 265
 266
 267
 268
 269
 270
 271
 272
 273
 274
 275
 276
 277
 278
 279
 280
 281
 282
 283
 284
 285
 286
 287
 288
 289
 290
 291
 292
 293
 294
 295
 296
 297
 298
 299
 300
 301
 302
 303
 304
 305
 306
 307
 308
 309
 310
 311
 312
 313
 314
 315
 316
 317
 318
 319
 320
 321
 322
 323
 324
 325
 326
 327
 328
 329
 330
 331
 332
 333
 334
 335
 336
 337
 338
 339
 340
 341
 342
 343
 344
 345
 346
 347
 348
 349
 350
 351
 352
 353
 354
 355
 356
 357
 358
 359
 360
 361
 362
 363
 364
 365
 366
 367
 368
 369
 370
 371
 372
 373
 374
 375
 376
 377
 378
 379
 380
 381
 382
 383
 384
 385
 386
 387
 388
 389
 390
 391
 392
 393
 394
 395
 396
 397
 398
 399
 400
 401
 402
 403
 404
 405
 406
 407
 408
 409
 410
 411
 412
 413
 414
 415
 416
 417
 418
 419
 420
 421
 422
 423
 424
 425
 426
 427
 428
 429
 430
 431
 432
 433
 434
 435
 436
 437
 438
 439
 440
 441
 442
 443
 444
 445
 446
 447
 448
 449
 450
 451
 452
 453
 454
 455
 456
 457
 458
 459
 460
 461
 462
 463
 464
 465
 466
 467
 468
 469
 470
 471
 472
 473
 474
 475
 476
 477
 478
 479
 480
 481
 482
 483
 484
 485
 486
 487
 488
 489
 490
 491
 492
 493
 494
 495
 496
 497
 498
 499
 500
 501
 502
 503
 504
 505
 506
 507
 508
 509
 510
 511
 512
 513
 514
 515
 516
 517
 518
 519
 520
 521
 522
 523
 524
 525

